

なんだろう なんだろう 「うそ」って、なんだろう。

☆手がかりとする価値

〔正直、誠実〕というのがここで、手がかりとする「価値」である。この価値自体が「自分」について考える手がかりにもなっている。「正直、誠実」がよいことなら「うそ」はついてはいけないことになる。しかし、一生うそをつかないで生きていけるものだろうか。そんなことを考えながら授業に臨みたい。

☆子どもの実態

省略

☆教材について

「うそ」というだれでも必ず経験があることについていろいろと考えることができる良い教材である。この教材を使っとうそはついてはいけないという結論だけを導き出すのはあまりにももったいない。子どもは差し障りのない範囲でうそをついた経験を話すことができると考えられるので身近な経験を素材にできる。

「うそ」をいろいろな視点から考えることは人間というものを考える良い機会になると思われる。それまで当たり前だと思っていたことを捉え返すことによって、子どもの心に何かが残ることを目指して授業を行いたい。そのためには、授業者が柔軟な姿勢を持つことが必要である。

授業者自身が持っておいた方が良くと思われるいくつか視点を指摘しておきたい。

☆人間は必ずうそをつくということは人間にうそはつきものだという事である。人は成長するにつれ、自分の物語を作る。そのなかには「本当でないこと」も含まれていることもある。それを「うそ」というなら人間は「うそ」なしに生きていけない。

☆うそばかりしていると人間関係は破綻するが、本当のことばかり言っても人間関係は破綻する。

☆他愛のないうそはかわいいが、本当のことは時に恐ろしいことがある。

☆自分にうそを言っただけで自分を保っていることもある。

☆時にうそをつかなければならない環境に置かれることもある。そういうとき人は本当のことだけを言って生きていきたいと願う。

☆人は何らかの仮面をかぶって生活している。TPOに応じて仮面を変えることもある。それは「うそ」なのだろうか。

授業者が「うそ」について考えたり、他の教員と話し合ったりした上で授業をするのが望ましい。

ヨシタケシンスケさんの絵は繰り返し、「うそ」って、なんだろうと問いかけている。問いかけは次の6つである。

- ①うそって、だれにもばれなければうそじゃなくなるの？
- ②「ついていいうそ」と「ダメなうそ」があるのかな？
- ③おやが子どものためにつくうそはいいのかな？
- ④だめなうそほどすぐばれる。なんでだろう。
- ⑤だめなうそをついちゃうときってどんなとき？
- ⑥「うそ」って、なんだろう。

☆参考資料

『うそなき』狂言絵本 内田麟太郎 マスリラ ポプラ社 絵本

『うそ』中川ひろたか ミロコマチコ 金の星社 絵本

『ウソツキクラブ短信』河合隼雄 大牟田雄三 講談社

☆ねらい この授業は、色々な角度から「うそ」について考える出発点にしたい。子どもの心に何かが残ることをねらいとして授業を行いたい。

☆子どもの活動

導入

これまでうそをついてはいけない、と言われてきたことがあるかを聞く。多くの子どもがそう言われてきたと思われる。「うそをついてはいけない」ということを肯定したあとで、今日のテーマを確認し、教科書の6場面の問いかけを子どもにしていく(全部でなくても良い)

展開

①「うそ」を言った事がある人はどんな場面でしたか？例をあげてもらおう。全員が発表する。

②「うそ」はつかない方がいいのに、なぜついてしまうのか考えてみよう。

自分のついたうそが下のどれにあたるか、考えてみる。

①よくおもわれたいとき ②おこられたくないとき ③きらわれたくないとき

④かなしませたくないとき ⑤ほんとうらしくみせたいとき ⑥なにかをまもりたいとき

⑦どれにもあてはまらないとき

③各自、付箋に自分のついた「うそ」の内容を書いて、黒板の①～⑦の所に貼る。

④付箋の内容を、皆に紹介する。質問など意見交換をする。

⑤皆、各自の付箋を見返して分類を変える人は付箋を貼り替える。

まとめ

授業で考えたこと、感じたことをまとめる。

【別なアイデア】 次の場面を想定し、子どもはどう行動するか考え、議論してみる。

A君は今度のテストで80点以上を取ったらゲームを買ってもらえることになっていた。テストが帰ってきたが、60点だった。そこでA君は字がうまいB君に頼んで6を8に書き換えてもらうことにした。君はこのことをどう思う？

そういうことはしてはいけないという子が多いと思うが、なぜいけないのかを聞いてみる。

ふりかえりの観点

「うそ」についていろいろな観点から考えてみるのができたか。考えるに際していろいろな人と話し合うことができたか。

授業者としては、子どもがそれまで持っていた認識をもう一度考えてみるように促すことができる機会を作ることができたか、という視点で授業をふり返りたい。